令和５年度　市長と市民とのくつろぎトーク実施報告について

１　概要

⑴目的

　４０歳という節目の年齢を迎えた多摩市在住者の中から無作為抽出により参加者を募り、「普段多摩市をどのように感じているか」「どうしたら多摩市がより魅力的なまちになるか」などについて話を伺い、政策やまちづくりの参考とする。

　なお、新型コロナウイルス感染症対策のため、令和元年９月、１０月を最後に休止としていたが、約４年半ぶりの開催となった。

⑵トークテーマ

①住みやすさ、働きやすさ、生活しやすさなどの点から多摩市をどのように感じているか。

②どのようにしたら多摩市がもっと魅力ある街になるかという意見や提案をいただく。

※特にテーマを設定しない意見や提案も有

⑶日時

①第１回　令和６年３月３日（日）１０：００～１１：３５

②第２回　令和６年３月９日（土）１０：００～１１：４５　※部分開庁日

⑷会場　多摩市役所　３階 特別会議室

⑸対象者

　令和６年１月１日現在、基本的に居住年数３年以上２０年以下の満４０歳男女で、住民基本台帳から無作為抽出した男女各１５０名の計３００名。対象者には開催案内を郵送し、参加申込はＬｏｇｏフォームを基本とし、ファクシミリからも可とした。

　なお、各回定員は１０名とし、申込多数の場合は抽選としたが、各回とも申込が定員に満たなかったため、申込者全員希望どおりの参加になった。

２　参加者

⑴市　　市長　※事務局として企画政策部長、秘書広報課長同席

⑵市民

日にち	男性(名)	女性(名)	計(名)	※字別(名)
３月３日	4	2	6	一ノ宮１、貝取１、桜ヶ丘１、永山１ 落合２
３月９日	4	3	7	百草１、関戸１、乞田１、永山２ 南野１、鶴牧１
計	8	5	１３	一ノ宮１、百草１、関戸１、貝取１ 桜ヶ丘１、乞田１、永山３、南野１ 落合２、鶴牧１

※３月３日申込　男性４名、女性５名、計９名（当日、女性３名欠席）

３　対話内容

事務局から開催の趣旨等を説明の後、自己紹介をし、トークテーマに沿って、対話を進行した。

市長から参加者に多摩市に住んで感じた率直な感想や、まちづくりの課題・問題提起などを伺い、市長が答えていく形で進み、最後に市長から総括的な話しをして終了した。

４　市の魅力・要望等　【２ページ以降参照】

対象を４０歳としたことで、子育てに関わることが多い。

市の魅力は、子育て施策の充実、良好な住環境、歩車分離の整備などであった。

また、要望等は、学童クラブ、学校、公園、まちの活性化、遊歩道、保護猫のほか、地域協創の視点からのものなど幅広くあった。

市の魅力

・妊娠をして、子育てをするのに多摩市がよい。(3/3)
・妻の実家が近いので、多摩市に来ました。詳しく知らなかったのですが、住んでみて居心地がよいと思った。(3/3)
・以前、住んでいた川崎市と比較して、不動産の価格が安い。(3/3)
・桜ヶ丘在住で家が一軒一軒離れている。(3/3)
・自分が育った区では、空気が悪く、小学校の時に葉っぱにセロハンテープを貼って、貼っていないところがどれだけ汚れているかの実験をしているような環境でしたが、多摩市は子どもと夏にカブトムシを採りにいったりとか、そういうことができるので、子育ての環境がよいと思う。(3/9)
・前は区部に住んでいて、そこで第一子を出産し、その後に子育てをしやすい環境を求めて、職場が都心であったり、いろいろな場所へ行かないといけなかったりするので、アクセスも考えて、多摩市に住みたいと思い 10 年前に引越しして来た。その後、3 人産み、4 人の子育てをしていて、子育てのしやすいまちだなと思う。(3/9)
・都心から住まいどんどん郊外に遠ざけているような形で、子どもを育てるのに、都心で仕事をしていると、都会の中を子どもがランドセルを背負って歩いている姿を見ると、これはどうなのかなと考えてしまった。空気とかがきれいなところで、埼玉出身で何にもないところで育っているので、多摩市はいろいろな経験ができるのではないかと住まいを変えた経緯がある。(3/9)
・子どもが生まれて、9 箇月の時に妻が亡くなり、今はシングルファーザーとして、二人で暮らしている。家を買ってしまっていて選べなかったが、子育てのことをいろいろなまちの人から聞くと、多摩市はだいぶよい方なのではないかと凄く感じている。子どものことを含めて、こういう境遇になったということもありますので、女性の役員が保育園で多く、そういうところに入っていって、もしできることがあればみたいな、そういう形で積極的に動く姿勢に、子どもがさせてくれたと思い、今日参加しました。(3/9)
・車道に面していない歩道などが整備されていて、安心して子どもを遊ばせられたりすることができる。(3/9)

要望等

区　分	内　　容
サービス改善	ボーイスカウトの活動で市の施設を使用しているが、平日の日中に使用料を支払いに行かなければならない。そのために時間を割かなければならず、使用日当日払いを可能にするとか、ネット決済などの仕組があると便利なので、見直しを考えて欲しい。(3/3)
市民協働	私は実は行政に携わっている人間で、多摩市以外の所で仕事をしている。市長は細かいところまで、よくご存じで、私のところのトップは、当然そこまで知らないだろうなというところまで、市長は細かいところまでご存じだったので凄い。しっかり市民のことを考えて、仕事をしているのだなと、今日この場で実感した。皆さんにいろいろな意見があると思うが、逆に多摩市さんはしっかりやっているのだと、ここで認識していただけたらなと思う。私は多摩市の立場ではないが、むしろ応援して、市に任せるだけではなくて、自分たちも意識を持って一緒にやっていこうという協働関係をつくっていけたら、持続性が高い市になるのではと思う。(3/3)
地域活動	・多摩市の高齢化が進んでいるのを、住んでいて肌で感じている。自分自身も老後を多摩市で迎えたいと思っていて、もっと地域に貢献したいのに、高齢になって、どうボランティアに参加したらよいのか、それこそ公園の草木を処理することなど、気軽にボランティアに参加できるプラットフォームがあるとよいなと思う。多摩市のホームページを見たが、あちらこちらに情報が点在していて、高齢になった方が病気であまり動かないけれども、何か役に立ちたいという時に、気軽に参加できるようなプラットフォームが整っていると、よいなと思う。(3/9) ・子どもがいないことで地域とのつながりが薄く、つながりを持つ機会がない。私も家族も多摩市にゆかりがあるわけではなく、元々の地縁的なもの、世代的な横のつながりも持ちにくい。「ファミリー・サポート・センター」や「グリーンボランティア」も存在を知っていて、やってみたいなという気持ちはあるが、週末しか時間がない。本当に帰って来るところでしかなく、地域とつながることができていないところはある。今、40 歳ということもあって、子どもを持てるかどうかが難しいと思うのと、高齢になった時に関わりが持てていない中で、暮らしやすさを自分が感じたり、生きがいをまちで感じたりできるかが不安。いろいろなまちづくりの視点を見てみると、低学年くらいのお子さんに対してのサービスやイベントが凄く充実している一方で、例えば、中学生、高校生、大学生くらいになって、少し文化的な刺激が欲しいとか、このまちで好きなことを仕事にしていきたいとなった時に、外に 1 回、多摩市を出てしまう人が多いのではないか。あまり垣根がないような、子どもとか高齢者とか、支えたいところは重点的に支えつつ、階段ではなく、なだらかな坂になっていて、つながりがあるまちになっていったら、私もいろいろなところへ参加しやすいし、同じように感じていらっしゃる方がいると思う。(3/9)
防災	令和元年の台風 19 号があった時に、連光寺小学校に避難した。ペットを飼っている家庭と飼っていない家庭が避難していたので、どうにか境界線というか、エリアを分けていただけるとよいと思う。また、体育館でトイレのスリッパをはき替えない人がいたので、衛生的にどうなのかと思う。(3/9)

区　分	内　　容
まちの活性化	・多摩地区の人口が増えたらよいなということと、そのために治安がよいと感じてもらう、この2点が重要。まちを凄くきれいにしたりとか、子育て世代が来て楽しめる催し物があったりとか、もう、インフラのベースは整っている地域だと思うので、それをちゃんときれいに整備し続けつつ、来たいなと思える場所づくりできたらよいのではないか。パルテノン大通りとか催し物がやりやすいところがある。(3/9) ・リニア中央新幹線の開通で、多摩市がどのように発展していくのか、どういうふうに人口が増えていくのかが気になる。(3/9) ・私が小さい時にいた、出身の広島では「土曜夜市」という、毎週、夜になると出店が出て、子ども、大人も集まるみたいなイベントがあった。毎週、そういうイベントをパルテノン大通りで、市場となると大変なので、輪投げとかのアトラクションをやって、そこで子どもが輪投げをすると、どこかのお店の500円割引券が貰えるとか、そうすると、サンリオピューロランドのお客さんたちも何かやっているなと、「こんな店があるんだ」とその店を利用して、地域にもお金が落ちつつ、楽しい感じで賑わうのではないか。(3/9)
スポーツ	「健幸都市」というスローガンは素敵だなと思うが、2018年以降、「多摩ロードレース」が開催されていない。子どものころから運動習慣を持ってもらいたいというのもあるので、家族がマラソンを趣味としているところもある。ファミリーで出られるような駅伝のようなものとか、多摩陸上競技場でマラソン大会があるが、コロナが収束というか落ち着いてきているので、ぜひ、ロードレース大会を復活して欲しいというのが希望。(3/9)
	・児童館での大きなイベントなど子供向けのイベントが多く、ありがたい。(3/3) ・小学校は8時開門で正に「小1の壁」にぶち当たった。自分の出勤時間の方が早くて子どもの登校時間が遅く、どうしても子どもを一人置いて、出勤することはできなかったので、正規職員を辞めて、今はパートで働いている。学校を早めに開けることは難しいかもしれないが、何とか子ども一人で留守番にならない状況になるとよい。その時は自分の働き方をセーブするしか選択肢がなかったので、何かよい方法があったらと思う。朝7時から8時までの学童とか、(絶対に無理でしょうが･･･)そんな学童ができたら最高です！(3/3) ・仕事から帰って、夕飯づくりが大変。同じマンションにおじいちゃん、おばあちゃんが別に住んでいる家庭があって、夕飯はおじいちゃん、おばあちゃんの家で一緒に食べている家庭がありますが、我が家は実家が遠いので無理。夜も給食があるとよいと思ったことがある。帰るとマンション下の宅配ボックスに入っているみたいな。これは子育て世代に限らず、高齢者世帯も望むところがあるのでは。(3/3) ・一番下の4歳の子どもが、医療的ケア児で鼻から栄養をチューブで入れていて、あとは普通に健康なのですが、その子を医療的ケアの対応ができる保育園に入れる際、市から保育園を探すのは、「自分たちでやってください」と言われ、結局、4つ5つの保育園へ電話をして探したということがあった。その子が大きくなり、小学校は問題がないが、今度は学童クラブで受け入れを始めているという話は聞いていて、そこで又、電話をして自分で探すのかなと思うと大変なので、ホテルのコンシェルジュのような方がいると助かる。子育てに限らず、高齢者の介護とかにも共通して、抱えている悩みかと思う。(3/9)

区　分	内　　容
子育て	・ファミリー・サポート・センターにお世話になっていて、すぐに対応してくださるので、大変ありがたい。(3/9)
保育園	待機児はもっと増えていくと思う。保育園を増やして欲しい。(3/3)
病児保育制度	病児保育制度は申請の手続きが大変なので、もっと利用しやすいようにして欲しい。(3/3)
学童クラブ	・多摩第三小学校１年生の子どもを学童クラブに通わせているが、2 年生からは別の学童クラブになり、同じ学校から数人しか入ってこない。定員を増やして欲しい。(3/3) ・多摩第三小学校に学童クラブを設置して欲しい。(3/3) ・今年の 4 月に子どもが多摩第三小学校に入学になり、仕事柄、学童クラブに通わせたいが、その小学校から学童クラブまでは子どもの足で徒歩 15 分くらいのところにある。親としてはかなり心配で、実際に子どもと学童クラブまで、また、その逆も歩いてみて、「もう疲れた。行きたくない」と子どもに言われてしまった。学童クラブはやはり学校にあった方が親として安心できるので、早く何とかして欲しい。(3/9) ・通わせようとしている学童クラブまでが遠く、多摩第二小学校、多摩第三小学校から入るところで、それぞれ定員があり、2 年生くらいまでしか入れないとなると、３年生以降はどうなってしまうのかというと、家に帰すしかない。家の中に一人にさせておくのはやはり心配で、そうなると、自分たちの働き方を考えないといけないし、妻はそのことを考えた時に転職をした。(3/9) ・学童クラブに多摩第三小学校の 2 年生が 1 人だと、子どもは行きたくないです。(3/9)
遊歩道	・引越しをしてきた時に歩車分離のまちづくりに慣れず、歩道をベビーカーで行った先が階段だったり、スロープがなかったりで、道を探しているうちに迷子になったことがあった。また、ベビーカーで通るにはスロープの傾斜が急だったり、自転車を想定したスロープだったりと困難。車椅子利用者も困っているのでは思う。地図上で階段、スロープの箇所を色分けするなどをしてもらえると良いと当時は思った。(3/3) ・遊歩道をベビーカーで通っている時は「あー、階段側になっちゃった」みたいなことがあったが、子どもが大きくなり歩けるようになってからは歩車分離の遊歩道のおかげで、安心している。遊歩道が多くてよい。(3/3) ・ベビーカーが通れるところ、その導線がよく分かりにくいというのはあった。ここに行くのには、どう入っていけばよいのか、「見つけた」と思ったら、もの凄い遠回りで、パルテノン大通りのところをベビーカーで通ろうとすると、Uターンさせられたりとかが子どもが小さい時に苦労した話です。(3/9)
公共交通	多摩都市モノレールが町田まで延伸されれば、町田へ気楽に行ける。(3/3)
公園	・住んでいる近くの公園にある遊具の安全管理をしっかりやっていただいている。遊具は事故が起きたり、古くなったりすると撤去されて、そのままになってしまうことが多いが、新しい安全な遊具に替えてくれる。(3/3) ・運動をしていて、公園にトイレットペーパーがあると安心なので、管理が難しい面もあるかとは思うが、トイレットペーパーを設置して欲しい。(3/9) ・自然豊かなのですが、草木が繁茂したままの公園があるので、もう少し整備したら、雰囲気も変わるというか、寂しげな手付かずの自然が多いので、わざわざ八王子まで出掛けて、相模湖周辺の整備された公園まで行っている。多摩市はもったいない。もっと整備されていたら、よいのになあと感じる。(3/9) ・くつろぎトークの参加にあたり、タクシーの運転手さんにインタビューをしたら、「公園は木が生茂っていて、暗くなっているし治安も悪くなっているので、奥さんとかを歩かせるのが怖いんだ」ってことを言っていた。(3/9)

区　分	内　　容
保護猫活動	譲渡会会場に公共施設を貸して欲しい。民間施設でやっていて、そこの協力で成り立っているが、負担も大きい。保護猫はやはり人に慣れていないのが多く、外に出すというのは猫にストレスなるので、屋外イベントは難しい。(3/3)
就学相談	就学相談の情報を動画で見たが、30 分以上あり時間が長い。また、通勤の途中とかでイヤホンで聴いていると、音が凄く近かったり、遠くになったり、聴きにくいところがあった。少しずつ細切れで見ていて、紙でも PDF でも資料があると、自分のペースでできるので、資料が手元にあるとよかった。(3/3)
学校施設	多摩第三小学校のトイレは、まだ和式なので、洋式にすることを切望する。(3/9)
学校給食	学校給食費の物価高騰分補助は大変ありがたい。ただ、今年度（令和 5 年度）に無償化になった市もあり、多摩市の見通しはどうなのかが気になる。(3/9)
特別支援学級	ことばやきこえのことで、ことばときこえの教室に相談などをしたい時に、教室直通の電話がなく、まずは学校の代表へ電話をして先生を呼んでもらうことになるので、気が引ける部分がある。他市には教室の直通電話があるようなので、直接、相談などをできるようにして欲しい。(3/3)